



ぎかいだより

懸かけはし橋



実りの秋、青空のもと収穫作業におわれる米農家

写真提供：おいらせ町文化協会 百石写撮会 西館 東城 氏

- ◆ 第3回定例会
 - 決算審査 2ページ
 - 議案審査 7ページ
- ◆ 一般質問（6人） 9～15ページ

平成24年度決算 178億円の使い道をチェック!!

一般会計107億円、特別会計71億円（病院事業会計含む）

今定例会は、9月5日から13日までの9日間の会期で開かれ、健全化判断比率及び資金不足比率の報告、平成25年度一般会計及び特別会計の補正予算、平成24年度一般会計及び特別会計の決算認定など、報告2件、諮問2件、議案22件、認定10件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決・認定しました。また、陳情1件を採択し、これを受け、委員会発議により意見書を提出することを可決しました。

一般質問には、6人の議員が登壇し、全員が一問一答方式により町当局の考えを質しました。

一般会計をはじめとする各会計の歳入歳出決算の認定については監査委員の意見書を添えて提案されました。

平成24年度の予算について、適正に執行され、目的を達成できたかを主眼に慎重に審議し、本会議において採決の結果、全会一致で各会計の歳入歳出決算を認定しました。

平成24年度の歳出決算額は、一般会計、8特別会計、病院事業会計合わせて178億4千506万円となりました。

平成23年度の決算と比べ、歳出で7億3千151万円の増（42%）となり、3億3千390万円が平成25年度会計へ繰り越されました。

一般会計のうち、歳入の主なもの、地方交付税や補助金、町債（借入金）などの依存財源が全体の70.5%を占め、自主財源である町税や使用料などは29.5%となっており、町財政の7割は国や県からの借金と借入金に頼っています。

一方、歳出では、人件費（議員や職員の給与）や扶助費（児童手当など）、公債費（借入金の償還金）を合わせた義務的経費が全体の39.5%、特に公債費は全体の1割を占めています。健全な町財政の維持のため、より一層、スクラップ・アンド・ビルドが必要です。

決算審査報告

町の健全化判断比率の4項目及び資金不足比率はいずれも良好であると報告されました。



報告を行う
名古屋誠 一代表監査委員

（総括意見）

財政健全化判断の4項目の指標と資金不足比率について慎重に審査した結果、書類が適正に作成されており、特に指摘すべき事項はありませんでした。

平成24年度的一般会計及び特別会計等については、書類審査、現地調査を実施し、いずれも適正に処理されていると認めました。

全体を総括して、地方債残高が減り基金残高が増えていることから、健全財政への努力が見てとれます。

しかし、今後も続くインフラ整備や福祉など、高レベルの行政サービスの維持、継続が求められるなか、引き続き

平成24年度健全化判断比率（基準値より低いと良好な状態）

| 健全化判断比率 | | 健全化基準値 | 備考 | 指標の説明 |
|----------|-------|---------|-----------|--------------------|
| 実質赤字比率 | 黒字 | 14.21% | 黒字 3.39% | 一般会計等の赤字の大きさを表す。 |
| 連結実質赤字比率 | 黒字 | 19.21% | 黒字 16.08% | 町の会計全体での赤字の大きさを表す。 |
| 実質公債費比率 | 14.0% | 25.00% | 基準値以内 | 借入金返済の負担の大きさを表す。 |
| 将来負担比率 | 75.5% | 350.00% | 基準値以内 | 将来負担すべき負債の大きさを表す。 |

震災復興への支援、投資が必要となることから、より一層の努力と成果を期待します。

歳出総額は前年度比4.2%の増、繰越額は3億3390万円の黒字

平成24年度 各会計の歳入歳出決算状況

| 会計別 | | 収入済額 | 支出済額 | 差引残額 |
|----------------|--------------|------------|------------|----------|
| 一般会計 | | 110億1594万円 | 107億5469万円 | 2億6125万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計 | 29億2204万円 | 28億7464万円 | 4740万円 |
| | 奨学資金貸付事業特別会計 | 1651万円 | 1620万円 | 31万円 |
| | 公共下水道事業特別会計 | 10億59万円 | 9億8807万円 | 1253万円 |
| | 農業集落排水事業特別会計 | 1億1254万円 | 1億1084万円 | 170万円 |
| | 介護保険特別会計 | 19億1941万円 | 18億9659万円 | 2282万円 |
| | 霊園事業会計 | 773万円 | 773万円 | — |
| | 公共用地取得事業特別会計 | 4367万円 | 4316万円 | 51万円 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 1億4223万円 | 1億4180万円 | 43万円 |
| | 計 | 61億6473万円 | 60億7903万円 | 8570万円 |
| (公営企業会計)病院事業会計 | | 9億9828万円 | 10億1134万円 | ▲1306万円 |
| 総計 | | 181億7896万円 | 178億4506万円 | 3億3390万円 |

※ 病院事業会計の不足分は、損益勘定留保資金で補てんします。

※ 数値は、各会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。



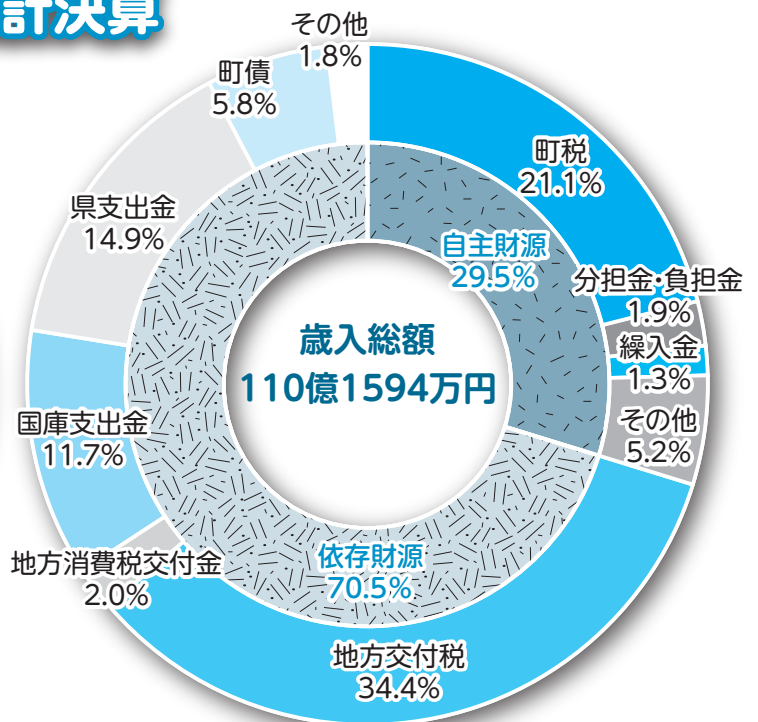
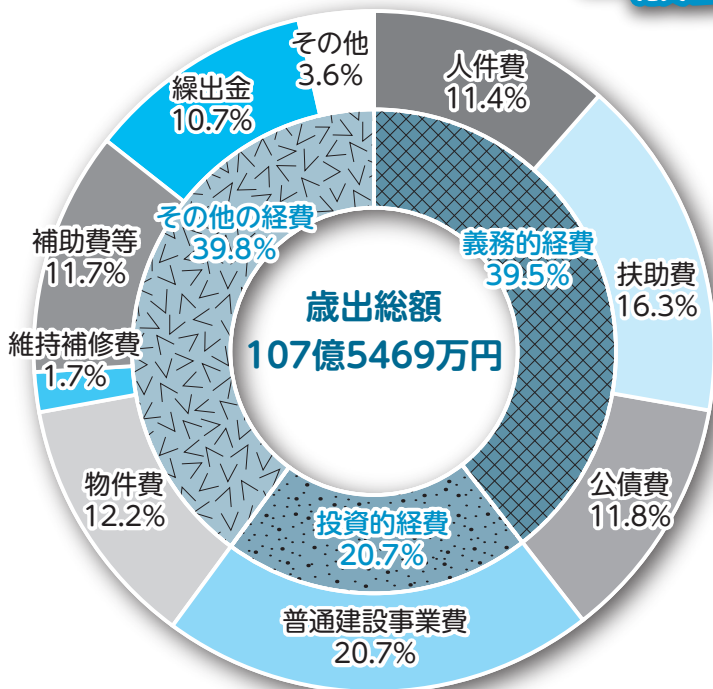
災害公営住宅（1億309万円）



下田中学校講堂（4億7167万円）

また、投資的経費である普通建設事業費は、前年度に対し、構成比で103ポイント増の20.7%となりましたが、これは、下田中学校講堂改築事業や災害公営住宅整備事業によるものです。

一般会計決算



決算特別委員会

—主な質疑—

一般会計



決算特別委員会の議事を進行する柏崎利信委員長（右）と平野敏彦 副委員長（左）

収入未済額・ 不能欠損への対策は

問 一般会計・特別会計の収入未済額・不能欠損額はやや減ったものの、ほとんど数字の動きは変わらない。決算規模から多額だと感じる。

答 抜本的な見直し、例えば担当職員だけでなく、全職員が徴収にあたる意識が必要ではないか。そのような対策の考えはないか。

答 全職員があたることは、徴収額より時間外手当が増えることも考えられるが、町民の不公平感をなくするために、そういう手段も必要だと考える。検討のために時間をいただきたい。

※収入未済額・不能欠損の状況については、6頁をご覧ください。

9月12日・13日の2日間、決算特別委員会（柏崎利信委員長）が開かれ、町の一般会計、特別会計歳入歳出の各決算の10認定議案を審査しました。各決算について、議員と町当局の間で活発な質疑・応答が行われ、その結果、9月13日の本会議でいずれも認定すべきものと決定しました。

問 保育料の滞納繰越を解消するため、児童手当と相殺する考えはないか。学校給食費の滞納についてもどのようになっているか。

答 児童手当は本人への給付となっている。しかし、保育料未納者に対しては口座振込から窓口払に変更している。その際、納付相談をするように指導している。

学校給食費の滞納については、催促状を送付している。

また、滞納者の比率は、給食センター方式（旧百石地区）が単独校方式（旧下田地区）の数倍である。センター方式は振込、単独校方式は学校独自に徴収するという徴収方法の違いが原因と思う。今後、一括給食センター方式になったときに徴収方法についても検討が必要と考えている。

問 学校給食費の収納率は、合併初年度の時点でも単独校方式90%、センター方式70%となっており、納入方法の改

善を検討すると言っていたが、何もしていなかったのか。

答 納入方法の変更のタイミングは、一括センター方式になってからと考えていた。次年度以降、学校側の理解を得てから、学校へ納入する方法も検討したい。

問 この際、学校給食費の無料化を検討できないか。

答 無料化には1億2千万円の費用負担が予想されるため、別な行政サービスを削る必要がある。滞納は滞納として納付してもらうことを考えていくべきである。

問 集会施設の維持管理費について、旧百石地区については、町が全額負担しているが、旧下田地区は住民負担となっている。町費の使い方が不公平。この状態はいつまで続くのか。

また、旧百石地区集会施設は、おいらせ町民が誰でも使役できるか。

答 新しい集会施設の建替えのときに、住民負担を求める

ことになる。
旧百石地区の町有集会施設については、全町民が等しく使用できる。

問 国際交流員報酬、国際交流協会補助事業を実施しているが、事業の内容と効果は。

答 国際交流員は、火曜から木曜の午前中は町内幼稚園や保育園の子供たちを対象に、水曜の午後は一般の方を対象に英会話教室を開催している。国際交流協会は、三沢米軍基地との交流や親子英会話教室を実施している。交流員の効果は、子供たちに変好評を博しており、一般向けの英会話教室には、八戸方面からの参加者もいる。

問 町内会・子ども会による資源ごみの回収を奨励しているが、平成22年度から24年度までの3年間でゴミ処理負担金がどれくらい軽減されたのか。

答 資源ごみの回収量は年々増えており、過去3年間では、約1千361万円の負担金を支出すべきところだが、奨励金へ



資源ごみの回収は、負担金の軽減に効果あり（写真は洋光台町内会）。

約496万円の支出となっており、差額約865万円が軽減された。

問 降雪時期を迎え、除雪機械の確保状況について、昨年より増えるか。

答 昨年は、町所有、業者所有、リースを含め37台稼働した。今年もお願いしているが、業者の都合により1台減となる可能性がある。

問 公園遊具について、今後の町の考え方は。撤去を進めたら遊具は無くなるが。

答 できる限り、あるものを修理して長く使うようにして

いきたい。ごく普通の遊具は補充するようになりたい。

問 大雪時の休校措置の考えはあるか。

答 公共交通機関が止まるような大雪が降ったときを除き、休校はしない考えである。

奨学金貸付事業 特別会計

問 当町の全国学力テストの結果は。また結果を公表する考えはないか。

答 結果については、青森県の平均を100とした場合、当町はやや下回っている。公表する考えはなく、公表により弊害が生じると考える。

霊園事業特別会計

問 造成していない土地について、今後利用することがあ

るのか、別な方法での利用について検討しているか、今後の見通しは。

答 残区画は、148区画であり完売まで15〜20年かかる。未造成地についても、墓地としての利用を考えたい。



町営霊園の未造成地は、今後どのように利用するか。

問 未造成地に法要や会食ができる施設を作る考えもあると思う。このような積極的な施設の充実についてどう考えるか。

答 そういう利用が可能か検討してみたい。

病院事業会計

問 24年度の純利益は、23年度に比較して大幅に減っているが、25年度の純利益の予測は。

答 8月までを見ると、患者数はやや減っているものの、診療収入は増、経費は減となり、全体的に昨年同期と比べ増となっている。このまま続けば24年度と同程度の黒字が見込めると思う。

問 患者数が減少していることを問題視すべき。患者サービスを充実させることが必要だと思ふ。

答 患者数をふやすための策を常勤の医師と協議して考えていきたい。

三沢市民病院が移転したことにより、外科の患者が減っており、診療は当病院で行って、手術は市民病院という大病院志向があるのではないか。

問 医療費の滞納額が700万円近いが、今後の方策は。

答 24年度は4月以後の収入があり、大きい滞納はない。それ以前の滞納について、退院してから生活保護を受けた方や、保険が適用とならなかった方等があり、高額療養費の貸付制度を利用していただいて、納入してもらったこともある。

今後も滞納については、病院経営に関わることで、努力していきたい。



近隣の大病院移転により患者数が減少。患者サービスの充実を。

町の貯金は

町の貯金である基金は、一般会計と特別会計を合わせて21基金があり、残高は47億3千343万円で、前年度より3億5千955万円増えました。

【基金残高】

| 区分 | 平成24年度末 | 増減額 |
|--------------|-----------|----------|
| 財政調整基金 | 14億3825万円 | 1億2201万円 |
| 減債基金 | 7億9047万円 | 35万円 |
| 地域振興基金 | 12億3000万円 | 増減なし |
| 東日本大震災復興推進基金 | 2億5574万円 | ▲3897万円 |
| 公共施設整備基金 | 1億7424万円 | 1億7424万円 |
| その他基金(16基金) | 8億4473万円 | 1億192万円 |
| 合計 | 47億3343万円 | 3億5955万円 |

町の借金は

一方、町の借入金金は、213億9千721万円で、24年度は10億9千540万円を借り入れましたが、借入金残高は、前年度より6億4千752万円減っており、健全財政への努力のあとが見て受け取れます。

【借入金残高】

| 区分 | 平成24年度末 | 増減額 |
|-----------|------------|-----------|
| 地方債(一般会計) | 115億2069万円 | ▲4億4937万円 |
| 公共下水道事業債 | 87億9074万円 | ▲1億8447万円 |
| 農業集落排水事業債 | 8億3368万円 | ▲4153万円 |
| 公共用地取得事業債 | 1億180万円 | ▲3500万円 |
| 霊園事業債 | 0円 | ▲647万円 |
| 病院事業債 | 1億5030万円 | 6932万円 |
| 合計 | 213億9721万円 | ▲6億4752万円 |

滞納総額は

平成24年度末の滞納総額は、7億1千790万円です。平成23年度末に比べて、735万円少なくなっていますが、その多くは不能欠損(㉑)によるものです。

長引く景気低迷で、収入の落ち込みなどにより厳しい行政運営が強いられる中、町民負担の公平・公正を図る観点からも、未収金対策については議会としても注視していきます。

㉑ 不能欠損とは
滞納者が破産、死亡、行方不明などにより滞納分の税金などが徴収できなくなった場合、その金額を消滅させること。

【町税等未収金の状況】

| 区分 | 平成24年度末 | 平成23年度末 | 増減額 | 不能欠損額 |
|-------------|----------|-----------|---------|--------|
| 町税 | 2億7142万円 | 2億8,581万円 | ▲1439万円 | 2806万円 |
| 学校給食費 | 825万円 | 733万円 | 92万円 | — |
| 町営住宅使用料 | 1714万円 | 1769万円 | ▲55万円 | — |
| 保育料 | 908万円 | 931万円 | ▲23万円 | — |
| 督促手数料 | 337万円 | 323万円 | 14万円 | 37万円 |
| 国民健康保険税等 | 3億7824万円 | 3億6700万円 | 1124万円 | 2279万円 |
| 奨学資金貸付金 | 190万円 | 183万円 | 7万円 | — |
| 下水道使用料等 | 1059万円 | 1257万円 | ▲198万円 | 41万円 |
| 農業集落排水使用料等 | 136万円 | 174万円 | ▲38万円 | 4万円 |
| 介護保険料等 | 893万円 | 823万円 | 70万円 | 260万円 |
| 後期高齢者医療保険料等 | 64万円 | 62万円 | 2万円 | 5万円 |
| 病院医療費 | 697万円 | 991万円 | ▲294万円 | — |
| 合計 | 7億1790万円 | 7億2525万円 | ▲735万円 | 5432万円 |

※数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。

一般会計補正予算1億6415万円増額

全議案、全会一致で可決



議事を進行する
佐々木議長

◆一般会計補正予算
歳出は、旧百石小学校教職員住宅解体工事費1千948万円、町債繰上償還元金2千6万円など1億6千415万円を増額補正し、予算総額100億2千833万円としました。
歳入は、地方交付税1億5千305万円、町民税1億424万円、決算確定により前年度繰越金8千120万円を増額する一方、町の貯金である財政調整基金から2億6千700万円を繰り入れしないこととなりました。



提案理由を説明する成田町長

25年度9月補正予算の内容

| 会計別 | 補正額 | 補正後の額 | 歳出の主なもの | |
|-----------------|--------------|------------|---|---------------------|
| 一般会計 | 1億6415万円 | 100億2833万円 | 公有施設解体工事費 1948万円 住宅用太陽光発電システム設置助成金 640万円 町道維持補修工事費 2525万円 町道整備工事費 2000万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計 | 3870万円 | 29億4626万円 | 国庫返還金 4137万円 |
| | 奨学資金貸付事業特別会計 | ▲266万円 | 1548万円 | 奨学資金貸付金 ▲270万円 |
| | 公共下水道事業特別会計 | 2372万円 | 10億5029万円 | 町債繰上償還金 1512万円 |
| | 農業集落排水事業特別会計 | ▲12万円 | 1億1566万円 | 人件費の調整 |
| | 介護保険特別会計 | 2413万円 | 18億7617万円 | 介護給付費準備基金積立金 1329万円 |
| | 公共用地取得事業特別会計 | — | 4150万円 | |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 53万円 | 1億4419万円 | 医療広域連合納付金 32万円 |
| | 計 | 8430万円 | 61億8954万円 | |
| (公営企業会計) 病院事業会計 | — | 10億1501万円 | | |
| 総計 | 2億4845万円 | 172億3287万円 | | |

※数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。



くららもろあきお
倉持 晶郎氏
(青葉)



やまはたせつこ
山端 節子氏
(阿光坊)

2人の委員の任期満了に伴い、山端氏と倉持氏を引き続き、人権擁護委員の候補者として推薦するものです。

人権擁護委員に
**山端さんと
倉持さんを推薦**

字の区域及び名称の変更

地区住民の利便を図るため、向山の一部の字の区域を変更するものです。

これにより向山地区の一部を「向山二丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目」に変更するものです。

効力日は平成25年11月18日の予定です。

平成26年度から 国保などの納期が 7期から8期へ

◆町国民健康保険条例の一部改正

地方税法施行令及び同施行規則の一部改正に伴う所要の改正を行うとともに、被保険者の負担軽減を目的に国保税の納期が7期から8期に拡大されます。

◆町介護保険条例の一部改正 ◆町後期高齢者医療に関する 条例の一部改正

その他の審議案件

被保険者の負担軽減を目的に介護保険料及び後期高齢者医療保険料の納期が7期から8期に拡大されます。

【議案】

◆町個別外部監査契約に基づく 監査に関する条例の制定

監査機能の専門性及び独立性を強化し、行政運営及びその監督機能に対する住民の信頼性を高めることを目的とし、監査委員の監査に代えて、個別外部監査契約に基づく監査をできるようにします。



第3回定例会のようす

◆町一般職の任期付職員の利用に関する条例の制定

必要に応じて、専門的な知識経験を有する業務や業務量の増加が見込まれる業務などに任期付職員を採用することが可能となり、弾力的な任用と勤務形態の実現により、公務の能率的運営の推進を図ります。

◆町子ども・子育て会議条例の制定

「子ども・子育て支援施策の総合的、計画的な推進に必要な事項、施策の実施状況等を調査審議する機関」として、「おいらせ町子ども・子育て会議」を設置します。

◆町特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償額 に関する条例の一部改正

町職員が消防団員などの非常勤特別職公務員に任命された場合の報酬支給や、町子ども・子育て会議の委員の報酬額の追加をします。

◆町特別参事の設置及び給与 等に関する条例の一部改正

病院長が緊急時に宿日直

業務を行った場合、手当の支給について定めます。

◆町税条例の一部改正

地方税法施行令及び同施行規則の一部改正並びに東日本大震災に係る固定資産税の減額措置に伴い所要の改正を行います。

◆字の区域及び名称変更に伴う 関係条例の整理に関する 条例の制定について

向山地区の一部の名称変更に伴い関係条例を改正します。

【追加提案】

◆木ノ下小学校第2体育館建築 工事請負契約の一部変更 契約の締結について

契約金額
(変更前) 3億1千500万円
(変更後) 3億2千718万円
(1千218万円の増)

契約の相手方
株式会社 柏崎組

変更理由

盛土、天井の防カビ対策、太陽光発電パネル点検用タラップ取付等による設計変更に伴う工事費の増

〈全会一致で可決〉

道州制の導入に反対



提案理由を説明する
柏崎利信 総務文教常任委員長

総務文教常任委員会において審査されていた「道州制の導入に反対する意見書」に関する陳情について報告を受けた議会は、全会一致で採択しました。

また、採択に伴い、委員会提案により、国会・政府関係機関に意見書を提出することを可決しました。

提出先

内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

町政を問う

～ここが聞きたい一般質問～

| ページ | 質問事項 | 質問議員 |
|-----|---|--------|
| 10 | ① 定例議会審議状況の中継について ② 町と町内会の関わりについて ③ 二の川の水質について ④ (続) 交差点改良と歩道整備について ⑤ スポーツ少年団のあり方について | 高坂 隆雄 |
| 11 | ① 子育て支援の充実について ② 医療関係について ③ 教育問題について ④ 住宅問題について ⑤ 農水産業開発について | 日野口 和子 |
| 12 | ① 町のスポーツ・レクリエーション振興について ② 町社協不明金問題について ③ 生徒の屋外放送について | 檜山 忠 |
| 13 | ① 百石漁港の整備について ② 福祉協議会に対し町の対応は | 平野 敏彦 |
| 14 | ① おいらせ町から多くのスポーツ選手を輩出しよう！ (子どもたちに夢を!!) スポーツ振興について ② 下田・向山駅前の活性化(朝市開催)について | 西館 秀雄 |
| 15 | ① 町道二川目48号線整備どうするのか ② おいらせ町小、中学校プールの存続について | 吉村 敏文 |

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。
「ざかいだより懸橋」では、スペースの都合上、質問と答弁を要約していますので、本
会議場での傍聴をお待ちしております。

※会議録は、議会事務局やホームページで閲覧できます。

一般質問



高坂 隆雄 議員

町と町内会の関わりについて

質問 町広報紙で町内会加入の啓蒙活動をしているが、効果はどうか。

町長答弁 町広報紙による町内会加入の啓蒙活動は、これまで行っていない。

別の方法により加入対策に取り組んでおり、加入率は微減で推移しています。

質問 ある町内会において、その地区に住む町民が当該町内会へ加入したい旨、班長さんへ年会費を添えて手続きをしたが、後日加入を認めないと町内会より回答があったそうです。その事実を知っていた場合、どのような対応を町として取ったのですか。

まちづくり防災課長 話は聞いていますが、任意団体である町内会の結論という事で、皆さんで協議をして規約に則った形で対応して頂きたいという話はしました。

質問 その方は、町内会又は町内会長から受けた事実に基づいて、公開質問状を町内会長宛書留内容証明郵便物で、本人受取限定で郵送し、当然会長は受取っている事になります。回答期日までに回答がなく、こうした場合、町はその町内会又は町内会長に対してどのような指導をしますか。

まちづくり防災課長 町内会の問題ですので、円満に解決されるように願っています。私どもは、町内会に「こうしなさい、ああしなさい」と言う立場にはないと考えています。

町としてできることは、相談に来た場合は相談を受けて、その旨の話はしますけれども、あえてこの問題について認める、認めない云々、個別の問題につきまして、私どもが「どうしろ、ああしろ」と言うことは考えてはいません。一般的な中身の中で判断します。

質問 この町内会、ある会員が過年度の証拠書類の閲覧を

要求したところ、多額な町からの補助金を得ていながらも「証拠書類がない」との回答だったそうです。

公正・公平な町内会運営を望む会員が多いですから、町民から町に相談や情報が寄せられた場合は、真剣に相談に乗って欲しいと思います。

町長答弁 もろもろ事情があるかもしれませんが、個々の事情はお聞きしながら、要請できる部分は要請したいと考えています。

(続)交差点改良と歩道整備について

質問 県道8号線と、町道木ノ下・二川目線の交じる交差点改良の見通しは。

町長答弁 現時点では事業の見通しは立っておりませんが、建物が撤去され、交差点の隅切りが実施可能となった場合には、町道整備事業の一環として整備を進めていきます。

質問 下田第五分団の屯所の建て替えは平成25年度の予定ですが、昨年12月末、町は、独断で候補地を選定し、図面まで作り、「この方向で進められるように協議して欲しい」と伝えてきました。再度、

分団で協議をし、「現在地より見通しが悪くなること」、「交差点を改良した場合の交差点内に入る」と等理由として不適地であり、最適地について、町側と分団側で地図上において、話し合える環境づくりを要請していますが、一向に前進する兆しがありません。

現在の候補地にするのか、又は近隣の別地へ移動し建設するのか、見通しはどうか。



交差点改良と歩道整備、消防屯所建設の見通しは。

町長答弁 計画では平成25年度の工事を予定し、事業に向けた準備を進めていたところですが、未だ建設候補地について合意が得られていない現状で、今後も引き続き協議を重ね合意が得られるように進めていくこととしております。

まちづくり防災課長 見通し

が悪いという点について、出動に対してどの程度支障があるかについては、私どもは素人ですので、常備消防である八戸広域消防本部に相談した結果、特に問題はないとの事です。

質問 その場所の施設を使うのは地元の人間です。

去年の3月議会の後に4件の交通事故が連続発生しており、死亡事故までありました。担当課長は私に「高坂さん、大人の判断をしてくれ」と数回言いました。その度に、真意を尋ねましたが回答はうやむやです。町職員としての対応はこういうことでしょうか。

町長答弁 もろもろの事情でまだできていないということに大変残念に思っております。できるだけ早期に完成することを望んでおります。

質問 同交差点から南方への歩道整備の必要性と、取り組み状況を示して下さい。

町長答弁 交差点から南側は歩道が整備されていないため、歩行者にとって不便な状態です。県に対し、今後も引き続き同交差点の視距改良と合わせ、その前後の歩道整備を要望したいと考えています。

一般質問



日野口 和子 議員

「子育て日本一の町」の名乗りを

質問 子育て日本一の町として名乗りを上げる考えは。

町長答弁 安心して子供を産み育てる環境づくりに向け積極的に各種施策を展開しており、出生率は県内3位となっており、子育て世帯が定住する環境づくりを含め、「次世代の社会を担う子供たちの健やかな育成を支援し子育て家族を応援するなど、みんなに優しい地域環境づくりを推進する」を基本理念とし、8つの施策に基づき、総合的な子育て支援の充実を実施しております。

予防接種や医療費を無料化に

質問 おたふく風邪、水痘、B型肝炎、ロタウイルス4種の任意予防接種の無料化を推進していく考えは。加えて、妊婦さんの風疹の無料化にも光を当てる考えは。

また、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンを含め日本小児学会が推奨する全15種類の予防接種すべてを無料化する考えは。

町長答弁 妊婦さんを含めて予防接種の無料化については、国・県、近隣の動向を見ながら検討していきます。

質問 高校3年生までの医療費の無料化の推進を。

町長答弁 私の公約でもある医療費の無料化の拡充を実施しております。町の財政事情を考慮した場合、町単独では困難ですが、子育て支援や少子化対策の一環として、国の動向を見ながら支給枠の拡大も検討していきます。

幼児教育の無償化を

質問 幼児教育無償化への取り組みは。



子どもたちの笑顔に責任を

町長答弁 保育料については、月額の上限を3万円とし、兄弟が2人以上入所する場合、2人目は2分の1、3人目以降を無料とし、保護者の経済的負担の軽減を図っており、町の負担額は約1億円となっておりです。

厳しい財政事情等を考慮した場合、3歳までの保育料無料の実施は困難ですが、平成27年4月から実施予定の子育て支援制度において、幼児期

の学校教育と保育を一体的に提供する幼保連携型認定子ども園の整備を促進することにしておりです。

今後、国・県の動向を注視しながら保育料無料の実施について検討したいと考えております。

教育長 文科省でも幼児教育無償化の考えを示しており、今後、その方向に進むのではないかと思っております。

子育て世帯の定住施策

質問 子育て世帯の定住施策は。

町長答弁 中学生までの医療費の無料化や保育サービスの充実を図るとともに、保健師を中心に子育てに関する相談体制を整備し、安心して子育てのできる環境づくりに努めており、私の公約でもある人口減少が著しい甲洋小学校区、下田小学校区の過疎化対策として総合的な定住促進対策を段階的に実施したいと考えております。

農水産物を活かす中間加工施設整備を

質問 農水産業開発にともなう中間加工施設を整備する考えは。

青森県全体の農水産物は、約7割は生鮮のまま県外に出荷されており、一方で外食、業務用の食材の75%は県外、中国産などの安価な外国産頼みが現状であり、食の安心・安全志向の高まりにより、国産品に関心が集まってきており、これらの加工を当町だけで行うことで農水産物に新たな付加価値が生まれ、雇用にもつながるかと思っておりますが、お考えは。

町長答弁 中間加工施設の整備は、六次産業化の振興及び当町の農水産物の販売促進をしていくためにも必要な要素の一つであると認識しております。農業団体等からの相談があった場合には検討していきたいと考えております。

一般質問



橋山 忠 議員

町の元気は スポレクで

質問 プロチーム「青森ワッツ」で当町出身の北向由樹選手がプレーすることになりました。町民挙げて支援する考えはありませんか。

町長答弁 北向由樹選手を応援することは、努力でプロ活躍ができるという夢を子供に与えることができます。町民挙げて応援したいと思いません。

質問 平成21年度作成の町総合計画の中のスポーツレクリエーション振興は計画どおり町民に浸透していますか。

町長答弁 町体育協会加盟の各協会主催のスポーツ教室への参加は微増しているが、町

民アンケートでは2%ほど減少しています。周知を行い、目標達成に向けて努力します。

質問 過去5年間の施設改修は、又、ドーム型施設を含めた今後の計画を教えてください。

町長答弁 下田公園野球場に照明灯2基設置。町民交流センター屋根修繕工事。いちょう公園体育館は耐震化工事と防護ネット改修工事。いちょう公園テニスコートの改修工事をそれぞれ実施しました。ドーム型施設の建設は調査検討を重ねてきました。国の新たな補助制度を期待し、調査研究を継続します。

質問 ドーム型施設建設を公約として、2月の町長選に再チャレンジする考えはありませんか。

町長答弁 オリンピックが7年後に日本で開催されます。ドームの夢をまだ捨てたくありません。

質問 町民がご支援くださるならば、来年の町長選挙で再度審判を受けたいと思います。

質問 町体協に未加入団体が増え、軽スポーツの普及促進を図ろうとしているが、支援方法はありますか。

教育長 町体協への加入要件は、自主運営が基本要件であり、この問題をクリアするための相談・助言等を引き続き行っていく予定です。



90歳でも元気にファイブ・ボール
(全国福祉ファイブ・ボール大会/10月12日 縄文の森イベント広場)

教育長 町スポーツ推進委員に関する規則があり、町民にスポーツの普及促進の理解を深め、指導を行い組織の育成を図ることです。その役割に期待をしています。

質問 スポーツ推進委員の知識・指導力の向上の場である東北大会・全国大会に毎年1人でも2人でも派遣する費用を予算化できませんか。

教育長 今年度は予算化はできませんでしたが、引き続き

予算化に努めたいと思えます。

社協不明金問題、 その後は

質問 死亡の元職員が不起訴と新聞報道されたが、今後の究明と町の指導方法はどのようになりますか。

町長答弁 先般9月5日に町社協より報告があり、7月31日付で青森地検八戸支部が被疑者死亡の理由で、不起訴処分となりましたとのこと、今後は民事事件として進めるることと、委任弁護士を通じて、遺族側との1回目の話し合いも7月27日行われております。

社会福祉法人の認可は県であり、町の指導外と考えます。

質問 解決まで何年かかりますか。現在まで弁護士費用を約200万円要しているが、今後どのくらいの費用が掛かりますか。その費用はどこから捻出されると思いますか。

副町長 見当がつきませんが、費用は、現在200万円ですが、見えていないのが成功報酬です。1割前後と思われる。その他旅費、日当もあると思

われます。

質問 他の社協の解決方法から会長をはじめ理事は責任をいつごろとるのが妥当と考えますか。

町長答弁 社協内部のことであり、答える立場にありません。

質問 事務局長と他1人の処分が決まりましたが、町民はこれで満足するでしょうか。

副町長 なかなか厳しい問題だと思えます。

質問 不明金は役職員らで補填するところがあるが、ボランティアに等しい会長はじめ理事の心情をどのように考えますか。

町長答弁 相当苦しんでいると思いますが、恐らく解決すると責任はとる覚悟ができていないのではないかと思います。

お年寄りに やさしい言葉を

質問 生徒の夏・冬休み期間中の夕刻の放送にお年寄り向けの喚起放送を付け加え行うつもりはありませんか。

教育長 担当が生徒指導連絡協議会ですので、意見として投げかけてみます。

一般質問



平野 敏彦 議員

百石漁港整備について

質問 平成25年度以降の整備計画は。

町長 漁港周辺の潮の流れや砂の堆積状況の調査を予定。

質問 百石町漁協からの要望は。

町長 南防波堤の延伸と漁港区域の拡大の2点です。

質問 南防波堤の延伸について。

町長 南防波堤の延伸については、県の概算事業費で40億

から115億円程度で3パターン
の計画が想定されます。町の
負担は10分の1となります。
漁港整備の判断は、県の調査
も一つの手法と考えています。

質問 漁港区域の拡大について。

町長 南防波堤の延伸方法な
ど、調査の結果によっては漁
港区域の拡大も想定されま
す。新たな漁港施設の整備も
必要になることも考えられま
すので、県と協議を進めてい
きます。



水産庁漁港部長 宇賀神氏
(左から2人目)に東日本
大震災復興経緯の説明と百
石漁港の整備を要望。

質問 水産庁への要望につ
いて、国の事業採択のために県
と町が一体となり運動すべき
では。

町長 現在、町として一定の
方向を出すことができていな
いところです。

今後の議論の中で防波堤の
延伸や漁港施設の整備、漁港
区域の拡大が必要であると判
断した場合、県を通じて水産
庁にも強く要望していきたい
。

社会福祉協議会

どうなる

質問 告訴後の経過について。

町長 平成24年11月1日、三
沢警察署に告訴、25年7月8
日、青森地方検察庁八戸支部
へ、死亡した元会計職員が不
明の一部を着服した疑いで、
業務上横領罪で書類送検。同
7月31日付で青森地方検察庁
八戸支部が被疑者死亡の理由
で不起訴処分としておりま
す。

そのほか使途不明金の補填
方法の方針決定や民事対応の

ための弁護士依頼、7月27日
には委任弁護士が遺族と第1
回目の交渉を行ったことや、
9月2日には理事会で、事務
局長ら2名の懲戒処分と補填
の具体案を内部検討するため
の検討委員会設置の報告を受
けております。

質問 不明金の最終額と弁護
士費用は。

町長 使途不明金は2千154万
円で、弁護士費用は刑事告訴
分83万円、民事対応分116万を
支払っているとのこと。

質問 役員の責任と不明金補
填の方法は。

町長 先般、議会に対する報
告においても、役員の責任に
ついて説明されませんでした
ので、お答えできる状況にな
いことをご理解ください。
補填方法の方針については
決定しており、今後、遺族
側との解決により、補填の方
法が決定するものと思ってお
ります。

質問 職員の補填について9
月4日の新聞に、不正経理の

あった期間内に在籍していた
役員らで穴埋めする方針に
変わりがないとあります。
報告会での職員には補填す
る法的根拠がないと説明され
たが、役員らの範囲は。

副町長 職員らというのは、
職員と理事会の役員というふ
うに考えておりました。
評議員は入っていないと私
は解釈しております。

質問 協議会の事業継続は。

町長 平成25年度の補助金・
委託金は総額5千351万円の予
定となっております。
委託事業は11件となっております
り、今後も事業継続を予定し
ております。

質問 委託事業について、民
間法人等が事業参画してお
り、福祉事業についても検討
すべきでは。

副町長 事業の継続につきま
しては、一考する余地はある
かなと思っております。
総合的にいろんなことを考
えながら、その点は考えを及
ぼしたいと思えます。

一般質問



西館 秀雄 議員

町から多くのスポーツ選手を輩出しよう

質問 この2年間、まったく町のスポーツ施設が変化を見せない。

スポーツ談義をする中で、その選手の素質、指導者の育成、そして本人の努力がなければレベルの向上はないという結論に至るが、結論に至る過程において、児童生徒によりよい施設を、更にいいものにしていかねければならない。町の力強いバックアップが必要だと思うが。

また、スポーツには必ずけががつきものである。スポーツトレーナーやドクターによる体のケアや講習等導入してほしい。

教育長 スポーツ施設の大規模な改修、新設の計画はありません。外部の指導者、スポーツトレーナーやドクターによる講習も要望を聞いて考えます。

質問 現在、町長杯の名称がつくスポーツ大会はあるのか。また、町長から子供たちに大きな夢を与えるメッセージを。

教育長 町長杯の名称をつけた大会はありませんが、ソフトテニス協会主催の「おいらせ町長杯争奪インドアソフトテニス大会」が開催されています。

町長答弁 「健康な体に健全な心が宿る」と言われているとおり、子供たちの健全な育成にスポーツは欠かせません。将来なりたいたい姿、かなえない夢を持ち、夢の持つ大きな力を信じ、努力を惜しまず、目標に向かって進んでほしいと思います。

質問 スポーツドーム建設に向けて調査検討しているか。

町長答弁 実現しなければならぬという目的をもって臨みたい。

下田・向山駅前の活性化を

質問 向山駅では、「おらんだの博物館」向山駅ミュージアム」という看板が出て、町内、地元の有志が努力している。また、9月7日、21日土曜日朝9時から向山市が開かれている。この駅前の活性化を図る考えはないか。

向山市について要望はなかったのか。

町長答弁 向山市は、向山駅愛好会で主催しています。要望について聞いたところ、要望はありませんでした。ただ、ハートピア助成でこれから申請する場合もあるかもしれません。

質問 合併してうれしかったことは、地元が駅が2つあること。下田駅、向山駅をにぎわいのある駅前にできないか。12月からホッキ漁が解禁される。おいらせ町の特産物、農産物の販売のため、駅前で

朝市を開催することができないものか。そういう協議をする場はあるのか。

商工観光課長 協議の場は特にありませんが、観光協会なり町商工会との活性化事業であったり、そういう場で話題として出ることはあります。

町長答弁 町は、青い森鉄道の株主でもあり、廃線となると地域に大変なデメリットが出るということで、青い森鉄道の社長に面会しました。そこで、私のアイデアを話しました。

議員提案もあり、町内

の会議として発展的にしていけば、活性化につながるかと思えます。

鉄道を存続させるために、赤字を黒字にする協力をしなければなりません。もう少し時間をいただきたいと思えます。



向山駅ミュージアム（上）と下田駅前（右）



一般質問



吉村 敏文 議員

質問 町道二川目48号線整備は、十数年前に町との協議で整備をするとのことから、地権者数名が町に土地を寄附している。

しかし、何年経過しても整備

寄附された道路用地の整備が進展しないが、どうなっている



30数年間放置された町道二川目48号線

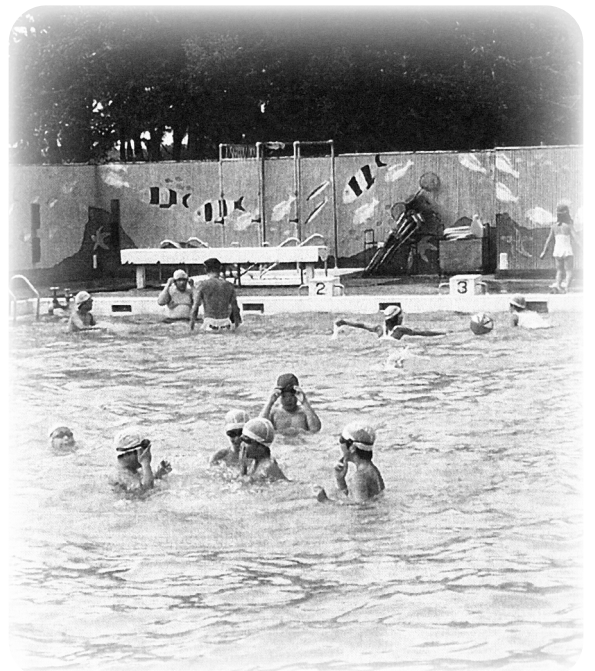
備の様子もうかがえない。また町からの説明もない。今後どのように取り扱うのか。

町長答弁 この路線は、国道338号から町道黒坂三沢線との間に位置する東西に延びる約1km、幅3mの砂利道です。

昭和56年10月に、この路線の西側、山林地域の長さ約270mの土地を8名の方から道路用地として寄附していただいています。

当時から既に30年以上経過し、詳細については現時点では不明ですので、当時の関係者から可能な限り事情を聞きたいと考えています。

小学校プール存続を望む声にどう応える



存続を望む甲洋小学校のプール

質問 町内小学校の使用可能なプールは4カ所と認識している。そのプールも老朽化が進み、いつまで使用できるか心配しており、父兄からも存続してもらいたいとの声がある。

教育長 ことしの夏は町内小学校のプール4カ所を使用しましたが、そのうち甲洋小学校プールは、老朽度から判断して今年限りとして、来年度からは、下田・木内々・木ノ下の3小学校のプールのみを

使用したいと考えています。

百石・甲洋小学校の児童のプールの利用については、これまで百石小学校からプールバスを運行したように、来年度から両小学校にプールバスを運行する考えです。

質問 危惧しているのは、プールがない時代、海で亡くなった人も何人かいる。「危険」と言っても、暑い時には水辺に行き、また昔のように海の事故が多くなるのではないかと心配する。安全性とか、少子化になっているので、百石地区が全部なくなることには疑問を持つ。やはり町民の方も父兄の方も1カ所ぐらい

あってもいいとの希望があり、地域性とかそういうものを考える余地はないか。

町長答弁 老朽化ということもありますので、教育長が調査した結果、他校に十分にスペースがあるのであれば、少し時間的には不便にはなるかもしれませんが、保護者の方々にもご理解・納得してほしい。

副町長 特に昔のことには身につまされる思いがします。実際にプールがなくなれば、どういふふうな弊害が生じるか、検討しながら町長にお話ししたい。

はじみていやーさい、嘉手納町のみなさん

かでなちまう

沖縄県嘉手納町議会総務財政常任委員会が来町しました。

平成25年10月10日、沖縄県嘉手納町議会から、総務財政常任委員会委員4名がおいらせ町を訪問しました。

このたび、嘉手納町議会総務財政常任委員会（知念 隆委員長）が、3泊4日の行程で、おいらせ町、三沢市、八戸市に視察研修のため訪れました。

嘉手納町は、那覇市から北に約23kmの距離にあり、沖縄本島の中部に位置する町です。人口は約1万3千800人、面積は約15km²であり沖縄県中部市町村では比較的小さな町です。また、町の面積の83%が米軍嘉手納基地として接収されているため、まちづくりには大きな制約を受けているとのことです。

嘉手納町も東シナ海に面した、ほぼ平坦な土地であり、東日本大震災発生後、あらためて津波等災害への対応が注

目され、そのため、おいらせ町では、防災行政の取り組みについて調査していきましました。



嘉手納町議会のみなさん

防災課職員から被災状況の写真や津波映像を示しながら、①震災後の復興状況、②防災組織の取り組み、③被災後強化した施策等について説明いたしました。

そのあと、参加委員から防災課職員に対し、防災行政無線（個別受信機）の設置状況や、今後予定されている津波避難タワーの建設計画について、熱心に質問をしていました。

また、途中で挟んだ休憩では、「だるま芋へつちよこ汁」を食べてもらい、当町の食文化にも触れてもらっています。最後に、宇榮原副委員長からのお礼が述べられ、次の視察地である八戸市に向かわれました。

午前10時、本庁舎会議室において、馬場副議長から歓迎の挨拶とおいらせ町の紹介がされたあと、知念委員長からも挨拶があり、今回、視察を受け入れたことについて、感謝の意を述べられました。続いて、当町のまちづくり

町村議会広報研修会

9月25日、青森県共同ビルにおいて町村議会広報研修会が開催され、当町からは、議会広報編集委員3名が参加しました。

研修会では、講師である広報コンサルタント 深沢徹氏により「議会広報に求められるものは？」と題して講演が行われました。また、県内5町村の議会広報を例にクリニックが行われ、住民に読まれるための議会広報の作り方について、各町村の参加議員にアドバイスされました。



編集後記

百石・下田まつりも天候に恵まれ、山車組や関係者方々の労苦に感謝です。他地区とのイベント等の競合もあり、観光客の減少が気になりました。

祭り主役の子どもが少ないなど、開催方法や運営について町民総参加のアイデアを募ってみてはいかがでしょうか。

議会広報編集委員

平野 敏彦 記



第4回定例会のお知らせ

平成25年12月5日(木)から開会予定

会場は本庁舎3階の議場で、開始時間は原則10時からです。

問合せ

議会事務局(本庁舎3階)
☎0178(56)2112